



子宮頸がん

ワクチン接種と

定期検診を受けましょう

子宮に発生するがんには、子宮上部にできる「体がん」と子宮下部の出入り口にできる「頸がん」があります。そのうちの頸がんは女性のがん死亡原因の第3位を占め、20代、30代での発症が増えています。最近になって、頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）感染が原因であるとわかってきました。HPVはごくありふれたウイルスで、成人女性の8割以上が感染します。ほとんどは自然に消えてしまふのですが、まれに感染したままになってしまふことがあります。感染が持続することで数年から十数年かけて頸がんが発生します。

HPVには100種類以上の型がありますが、頸がんの原因になるのは15種類ほどです。日本では、一昨年からHPV感染を防ぐワクチンが発売され、使用できるようになりました。このワ

クチンは2種類のHPV感染を防ぐことにより、頸がん発生を約70%減らすことができます。ワクチンは初回、1カ月後、6カ月後の3回接種します。副作用は他のワクチンと違いはありません。このワクチンは思春期の女性に接種するのがもっとも効果的です。吹田市は2月から女子中学生を対象に公費助成を始めています。残念ですが、ワクチンですべての頸がんを防ぐことはできません。今までと同じように、がん検診も重要です。もし頸がんになっても、早期に発見・治療すれば死亡することはありません。吹田市は2年に1度の検診を行っています。ワクチン接種と定期検診で吹田市から子宮頸がんがなくなる日が来ることを願っています。

吹田市医師会 御前 治